

令和5年度三重県高等学校剣道新人大会
兼 第33回全国高等学校剣道選抜大会予選会
兼 第10回東海高等学校剣道選抜大会予選会

期 日

令和6年 1月 20日(土) 10:00 男女団体
21日(日) 9:50 男女個人

会 場

三重交通Gスポーツの杜伊勢

主 催

三重県高等学校体育連盟

共 催

三重県教育委員会

主 管

三重県高等学校体育連盟剣道専門部

競技役員

会 長	嶋田 和彦			
専門部長	早川 巖			
来 賓	長谷川恵一	山村 勝弘	阿形 克己	濱田 和義
委員 長	三輪 弘治			
副委員長	岩崎 義昭	前 義典		
審 判 長	森川 政人			
副審判長	尾上誠一郎			
審 判 員	三重県高等学校体育連盟剣道専門部審判員 他			
救 護	實平 貴雄			
補 助 員	白子高校	三重高校	高田高校	鈴鹿高専
	鈴鹿高校			
会場責任者	寺下 伸			

大会・試合要項（抜粋および追加・変更点）

1. 日程

1月20日（土）	8：00	役員入場、会場準備
	8：30	選手・引率者・大会関係者・観客入場 準備ができ次第、竹刀検量・練習開始
	9：30	審判会議
	9：50	練習終了
	10：00	開会式、終了後試合開始
21日（日）	8：30	入場 準備ができ次第、竹刀検量・練習開始
	9：30	審判会議
	9：40	練習終了
	9：50	開始式、試合開始

2. 運営方法

1月20日（土）	①	第1・3試合場	男子団体	準々決勝まで
		第2・4試合場	女子団体	予選リーグ
	②	第1・3試合場	男子団体	準決勝
		第2・4試合場	女子団体	準決勝
	③	第1試合場	男子団体	決勝
		第2試合場	女子団体	決勝

※ただし、男女とも決勝に進出する学校がいる場合は、
第1試合場で女子団体→男子団体の順で行う。

21日（日）	①	第1・3試合場	男子個人	1～5回戦
		第2・4試合場	女子個人	1～4回戦
	②	第1・3試合場	男子個人	準々決勝
		第2・4試合場	女子個人	準々決勝
	③	第1・3試合場	男子個人	準決勝
		第2・4試合場	女子個人	準決勝
	④	第1試合場	男子個人	決勝
		第2試合場	女子個人	決勝

※②～④まで、最初の試合の開始をそろえる。

3. 試合要領 全日本剣道連盟試合・審判規則及び細則、全国・三重県高体連剣道専門部申し合わせ事項、新型コロナウイルスが収束するまでの暫定的な試合審判法による。

a. エントリー

- i. 【団体戦】男女とも各校1チーム（3名以上8名以内の選手）を登録する。
- ii. 【個人戦】男女とも今年度三重県高校剣道学年別大会2年の部および1年1部のベスト8をシード選手とする。また、シード選手以外に各校2年生全員および1年生2名以内が参加可能とする。団体戦と兼ねてもよいが、申し込み後の変更は認めない。

b. 試合方法

【団体戦】男女ともエントリー数が16チーム以上の場合は決勝までトーナメント戦を行い、15チーム以下の場合は予選リーグの後、上位4チームによる決勝トーナメント戦を行う。試合時間は4分とし、以後引き分けとする。

<トーナメント戦>チームの勝敗は、勝者数・総本数の順で決する。チームの勝敗が決しない場合は代表者戦を行う。出場選手5名のうち任意の1名による4分1本勝負とし、試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行い、先に1本を取ったものを勝ちとする。延長戦の試合時間は4分とし、延長戦が継続する場合は、延長戦2回ごとに「深呼吸」・「給水」の休息・休憩を繰り返す。

<リーグ戦>チームの勝敗が決しない場合は代表者戦を行わず引き分け。勝ち点（勝ち1、引き分け0.5、負け0）、勝者数、総本数の順に順位を決定する。すべて同数の場合は、以下の要領で代表者戦を行い、順位を決定する。

- i. 3位以下ですべて同数の場合は、代表者戦を行わない。
- ii. 代表者戦の対戦順は予選リーグ戦時の対戦順とする。ただし、順位が決定した後の試合は行わないものとする。
- iii. 代表選手は選手の安全面等に配慮し、代表者戦ごと変更することを可とする。
- iv. 礼法については、代表者戦1巡目のみ当該の試合に出場した5人を整列させて行い、2巡目に入った場合は代表選手のための礼とする。

- v. 代表者戦の選手は、当該の試合に出場した先鋒から大将までの5人の選手から選出する。
- vi. 代表者戦は4分1本勝負とし、試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行い、先に1本を取ったものを勝ちとする。延長戦の試合時間は4分とし、延長戦が継続する場合は、延長戦2回ごとに「深呼吸」・「給水」の休息・休憩を繰り返す。

【個人戦】男女とも決勝までトーナメントにより行う。試合時間4分の3本勝負とし、勝敗の決しない場合は延長戦を行い、先に1本を取ったものを勝ちとする。延長戦の試合時間は4分とする。延長戦が継続する場合は、延長戦2回ごとに「深呼吸」・「給水」の休息・休憩を繰り返す。

「休息」・・・立礼の位置まで下がらせて深呼吸させる。試合再開までは1分程度を目途とする。

「休憩」・・・選手を選手席に戻し、面を外させて給水させる。試合再開までは4分程度を目途とする。審判員も一度審判員席に戻る。

c. オーダー順の提出

前の試合の次鋒戦が終わるまでに所定の用紙を試合場の係に提出すること。
4人チームは「次鋒・中堅・副将・大将」、3人チームは「中堅・副将・大将」に選手を登録する。

d. その他

- i. 男女団体1位が、第33回全国高等学校剣道選抜大会（令和6年3月26日～28日 於 春日井市総合体育館）に三重県代表として出場する。
- ii. 男女団体ベスト8が、第10回東海高等学校剣道選抜大会（令和6年2月18日 於 DMG MORIアリーナ）に三重県代表として出場する。
- iii. 男子個人1位が、第72回全日本都道府県対抗剣道優勝大会（令和6年4月29日 於 大阪市）に三重県代表として出場する。
- iv. 男女個人戦ベスト8の選手は、来年度三重県高校総体個人戦のシード選手となる。

4. その他

- a. 会場に入場できる人に制限はありません。

1階フロアに入れるのは、剣道部員、引率者、審判員、来賓、大会役員、大会関係者のみとする。

- b. 竹刀検量は、準備ができ次第体育館内で行う。
※男子480g以上、女子420g以上。
※先皮の長さは先端より5cm以上。先細の竹刀については使用を禁止とする（男子26ミリ以上、女子25ミリ以上）。
- c. 学校名、名前を明記した名札を必ずつけること。
- d. 大会中の傷害について応急処置はするが、その後の責任は負わない。
- e. 1階フロア内での動画撮影は禁止する。2階観客席で行うこと。

大会記録をリアルタイム（5分おきに更新）で確認できます。

以下のホームページからアクセスしてください。



<https://mie-koutairen.jp/kendo/event/entry-4805.html>

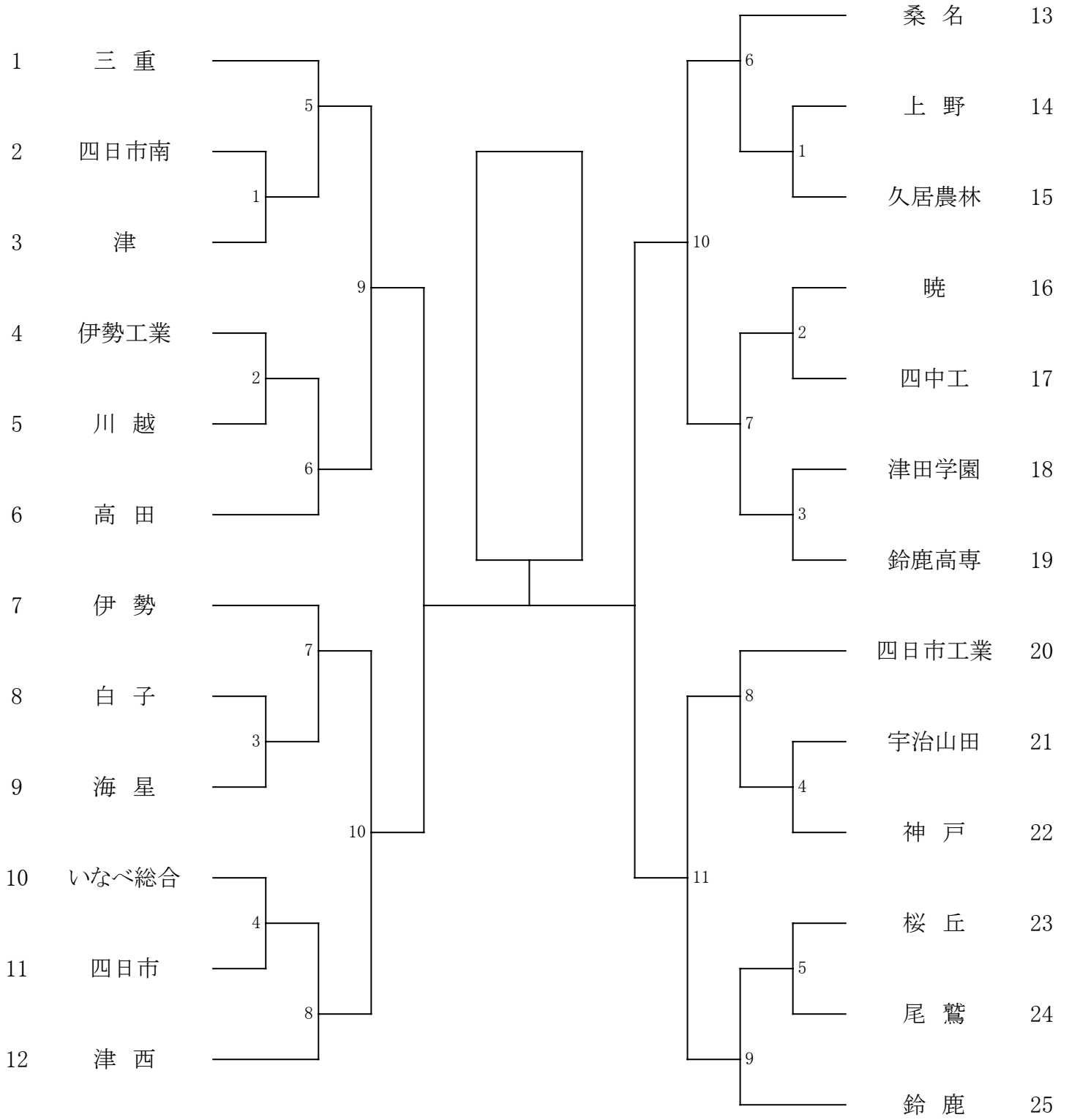
記録は生徒による係で行っています。また、今大会で初めて試行しますので、接続不良等でご覧いただけない場合があります。

予めご了承ください。

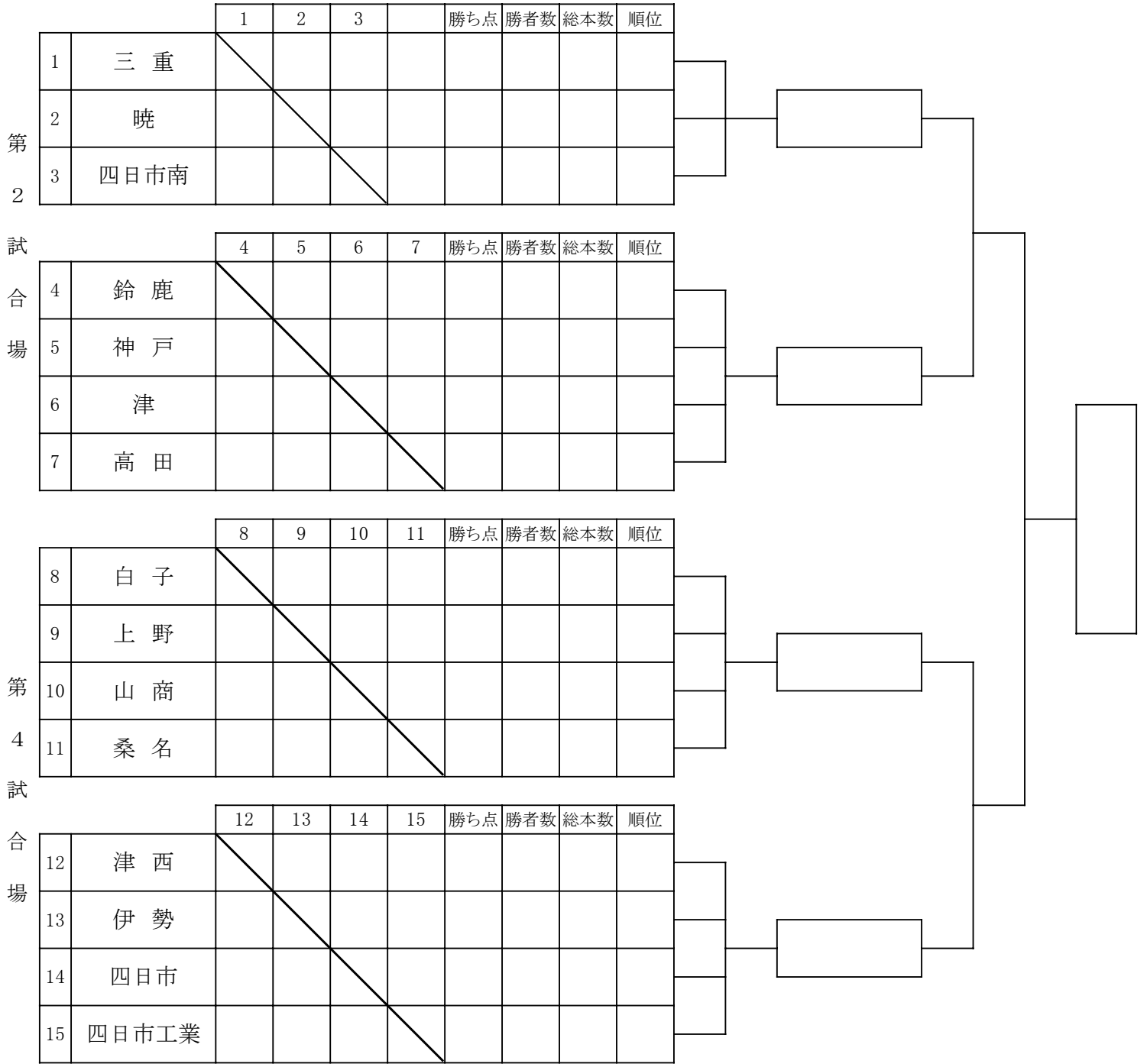
R5 新人大会 男子団体

第1試合場

第3試合場



R5 新人大会 女子団体



試合順	第2試合会場			第4試合会場		
1	1	-	2	8	-	9
2	4	-	5	10	-	11
3	6	-	7	12	-	13
4	2	-	3	14	-	15
5	4	-	6	8	-	10
6	5	-	7	9	-	11
7	1	-	3	12	-	14
8	4	-	7	13	-	15
9	5	-	6	8	-	11
10				9	-	10
11				12	-	15
12				13	-	14

男子団体 登録選手

	学校名 / 監督	1	2	3	4	5	6	7	8
1	桑名高等学校 大橋 美和	松井 遥 (2年・陽和)	宮島 幸瑛 (2年・陵成)	若林 奏佑 (1年・陵成)	野口 暖希 (1年・陽和)	高木 朔 (1年・陵成)	(年・)	(年・)	(年・)
2	いなべ総合学園高等学校 岩出 和樹	津波 海星 (2年・大安)	樋口 陽星 (2年・西朝明)	日沖 凱斗 (1年・大安)	岡本 悠希 (1年・大安)	(年・)	(年・)	(年・)	(年・)
3	四日市高等学校 日沖 純也	津田 隆之介 (2年・南)	橋詰 温斗 (2年・羽津)	尾上 拓也 (2年・内部)	北原 遙之 (1年・川越)	(年・)	(年・)	(年・)	(年・)
4	四日市南高等学校 矢田 真紀子	川上 雄大 (1年・常磐)	笹原 煌牙 (1年・南)	白井 颯真 (1年・菰野)	永井 健一朗 (1年・朝明)	石川 祐至 (2年・三滝)	(年・)	(年・)	(年・)
5	四日市工業高等学校 大澤 伸高	豊田 大志 (2年・陽和)	山家 悠 (2年・陽和)	松平 彪雅 (2年・亀山中部)	服部 愛大 (2年・桜)	實平 真虹 (1年・亀山中部)	松岡 倅汰 (1年・陽和)	坂元 望夢 (1年・白鳥)	(年・)
6	四日市中央工業高等学校 下村 裕一	後藤 颯太 (2年・南)	藤山 聖良 (2年・羽津)	井口 陽平 (2年・南)	服部 昭人 (2年・羽津)	橋岡 蒼一朗 (2年・富田)	玉谷 陸 (2年・常磐)	日高 進之介 (2年・朝明)	(年・)
7	川越高等学校 藤田 一真	玉木 輝正 (1年・常磐)	鯖戸 瑛慎 (1年・光陵)	松岡 拓哉 (2年・光風)	杉本 真隆 (1年・明正)	板鼻 秀悟 (2年・陵成)	(年・)	(年・)	(年・)
8	神戸高等学校 沢田 貴昭	増田 颯斗 (1年・常磐)	太田 陸都 (1年・常磐)	赤土 耀 (2年・常磐)	(年・)	(年・)	(年・)	(年・)	(年・)
9	白子高等学校 玉置 亮	藪井 靖春 (2年・名張北)	奥山 朱理 (1年・三雲)	粕谷 智大 (1年・嬉野)	川瀬 陽大 (1年・山手)	川村 陽向 (1年・久居東)	長曾 脩雅 (1年・緑が丘)	古市 有理 (1年・久居東)	古屋敷 憲吾 (1年・大木)
10	津高等学校 小西 大亮	大日方 祐斗 (2年・橋北)	矢田 侑雅 (1年・神戸)	川極 義弘 (1年・大山田)	(年・)	(年・)	(年・)	(年・)	(年・)
11	津西高等学校 山下 隆史	田川 陽月 (2年・嬉野)	黒木 煌生 (2年・神戸)	小泉 映人 (2年・橋北)	大河内 才才 (1年・朝陽)	山下 輝隆 (1年・明和)	渡邊 陽煌 (1年・明和)	船木 悠佑 (1年・附属)	中山 歩夢 (1年・橋北)
12	久居農林高等学校 田中 美奈子	大森 創太 (2年・鎌田)	野口 優吏 (2年・嬉野)	脇田 翔献 (1年・久居東)	兒玉 樹哉 (1年・鼓ヶ浦)	(年・)	(年・)	(年・)	(年・)
13	宇治山田高等学校 竹内 竜馬	小林 大益 (1年・度会)	原 暖大 (2年・殿町)	松井 志道 (1年・磯部)	安達 悠真 (2年・殿町)	(年・)	(年・)	(年・)	(年・)
14	伊勢高等学校 玉置 亮太	中山 涉 (2年・小俣)	南 眺太 (2年・鳥羽東)	高橋 優斗 (2年・度会)	向井 優騎 (2年・伊勢宮川)	西川 琥大郎 (1年・小俣)	西本 晴俊 (1年・厚生)	(年・)	(年・)
15	伊勢工業高等学校 長谷川 毅	川原 龍昇 (2年・答志)	田嶋 伶思 (2年・小俣)	長谷川 桜介 (2年・多気)	片山 楓 (1年・鳥羽東)	本田 純平 (1年・御薗)	寺田 壮磨 (1年・港)	(年・)	(年・)
16	上野高等学校 宮田 雅美	永井 陽翔 (2年・緑ヶ丘)	大藪 篤人 (2年・上野南)	下栗 彩矢 (1年・城東)	戸井田 ユウキ (1年・崇広)	飯田 悠人 (1年・名張)	世良 万太郎 (1年・名張)	(年・)	(年・)
17	尾鷲高等学校 熊澤 一衛	大西 美琉斗 (2年・紀北)	武村 仙祐 (2年・紀北)	岡 稜介 (1年・尾鷲)	村田 樹希翔 (1年・尾鷲)	(年・)	(年・)	(年・)	(年・)
18	津田学園高等学校 曾我 彰信	小林 麗人 (1年・四日市南)	佐賀 暖太 (1年・山手)	斎藤 敬太 (1年・陽和)	(年・)	(年・)	(年・)	(年・)	(年・)
19	暁高等学校 荻田 拓人	岡本 唯誠 (2年・長島)	上田 隆瑛 (1年・暁)	井上 太陽 (1年・暁)	寺本 純士 (1年・富田)	金森 隆一 (1年・長島)	稲垣 倅 (1年・長島)	(年・)	(年・)
20	海星高等学校 小川 貴之	松山 侑誠 (2年・菰野)	落合 柊仁 (2年・菰野)	安田 賢信 (2年・大池)	小倉 和朔 (2年・羽津)	藤井 晃大 (2年・南)	坂本 晴斗 (1年・常磐)	鈴木 蒼良 (1年・常磐)	滝 慶祐 (1年・海星)
21	鈴鹿高等学校 安達 正史	中村 新太 (2年・嬉野)	辻 滉啓 (2年・久居東)	柴田 大暉 (1年・神戸)	玉田 夢叶 (1年・陽和)	向井 崇章 (1年・亀山)	平川 凌成 (1年・神戸)	二宮 雄輝 (1年・三雲)	東 昇平 (1年・一志)
22	高田高等学校 緒方 美德子	工藤 龍馬 (2年・白山)	小西 倅成 (2年・矢瀨)	田中 奏汰 (1年・橋南)	吉田 湊 (1年・厚生)	米川 陽希 (1年・鼓ヶ浦)	緒方 健 (1年・南が丘)	草川 音羽 (1年・芸濃)	小坂 緋那斗 (1年・高田)
23	三重高等学校 浜田 義克	駒田 一颯 (2年・嬉野)	新井 龍信 (2年・池田)	田崎 新舵 (2年・尾鷲)	杉本 大治 (2年・鳥羽東)	加藤 幸村 (2年・平坂)	山田 虎太郎 (2年・高森)	木村 慎之介 (2年・津賀田)	杉原 琉仁 (1年・高師台)
24	桜丘高等学校 荒武 敏志	小林 真之助 (1年・桜丘)	中東 和爽 (2年・桜丘)	杉田 慎仁郎 (2年・桜丘)	(年・)	(年・)	(年・)	(年・)	(年・)
25	鈴鹿工業高等専門学校 南部 智憲	下村 昊誠 (2年・陵成)	高橋 龍ノ介 (2年・津賀田)	水口 侑大 (2年・紀北)	阿部 賢悦 (1年・山手)	大塚 直太朗 (1年・近衛)	(年・)	(年・)	(年・)

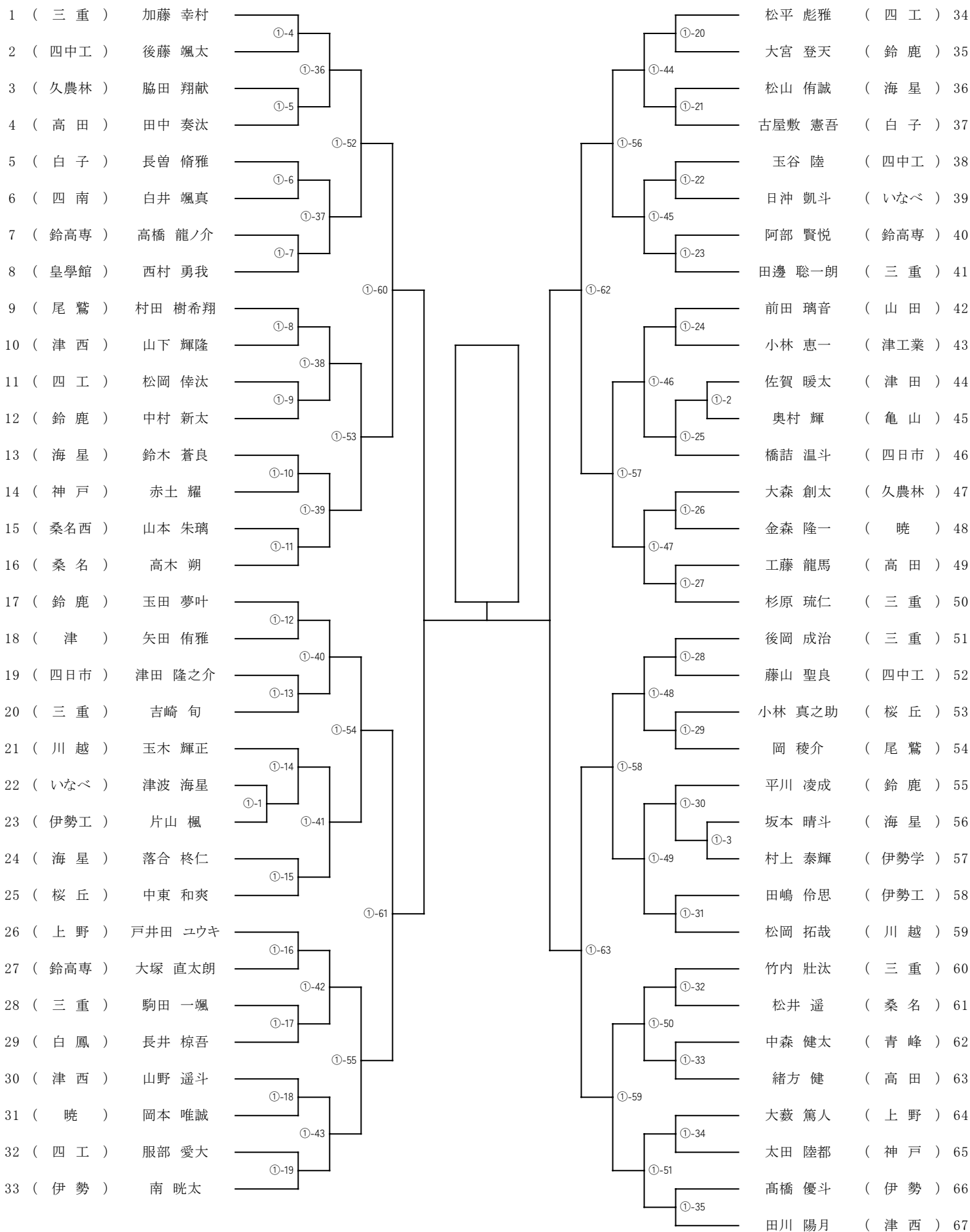
女子団体 登録選手

	学校名 / 監督	1	2	3	4	5	6	7	8
1	桑名高等学校 大橋 美和	加藤 さくら (2年・陽和)	本田 紗藍 (2年・陽和)	鷺野 紋菜 (2年・平田野)	渡邊 花恋 (2年・創徳)	大内 柚乃 (1年・朝明)	大下 もも (1年・員弁)	中 陽璃 (1年・大山田)	高橋 朋花 (1年・光風)
2	四日市高等学校 日沖 純也	熊谷 柚花 (2年・朝明)	小川 紗葉 (2年・陵成)	尾久 瑠利佳 (2年・神戸)	兼光 菖芽 (1年・千代崎)				
3	四日市南高等学校 矢田 真紀子	竹内 七菜 (2年・三滝)	北島 瑞穂 (1年・富田)	古川 叶恵 (2年・三滝)	原 小晴 (1年・大池)	石本 結菜 (2年・南)	中泉 ひかり (1年・笹川)		
4	四日市工業高等学校 吉田 裕二	嶋本 愛奈 (2年・三重平)	阿部 麻琴 (2年・山手)	笹山 楓香 (1年・内部)					
5	神戸高等学校 沢田 貴昭	上原 愛叶 (2年・創徳)	青木 萌々香 (1年・常磐)	下田 栞椰 (2年・鼓ヶ浦)	伊藤 埼 (1年・常磐)	原田 七香 (2年・平田野)	辻 尚華 (1年・塩浜)	城山 美咲 (2年・白子)	
6	白子高等学校 玉置 亮	北森 菜希 (2年・名張南)	木下 まりん (2年・常盤)	大西 梨央 (1年・三雲)	森 楓花 (1年・陽和)	橋本 明咲 (1年・羽津)			
7	津高等学校 岩崎 義昭	南 愛実 (2年・西橋内)	坂 紅子 (2年・橋北)	向山 みわ (1年・橋北)	渡邊 優楓 (1年・嬉野)	大井 美波 (1年・白子)			
8	津西高等学校 山下 隆史	佐伯 悠 (2年・神戸)	西教 志保 (2年・久居)	山口 千明 (2年・神戸)	大西 杏実 (2年・上野南)	藤島 華伶 (2年・柘植)	森田 瑚都 (1年・鎌田)	植田 遙 (1年・名張北)	橋本 花奈 (1年・青山)
9	伊勢高等学校 玉置 亮太	森田 誓 (2年・玉城)	谷貞 愛姫奈 (2年・度会)	川井 奏世子 (1年・久保)	池谷 玲佳 (1年・小俣)	池谷 葵 (1年・小俣)	山中 花恋 (1年・小俣)		
10	宇治山田商業高等学校 藤本 敬典	裏地 花 (2年・文岡)	中辻 深月 (1年・桜浜)	掛橋 如乃 (1年・五十鈴)					
11	上野高等学校 亀井 勇希	藤井 華子 (2年・阿山)	岡本 咲良 (2年・名張南)	八尾 夕依 (2年・名張北)	栗野 真央 (1年・崇高)				
12	暁高等学校 宮崎 朱里	山下 唯月 (2年・暁)	岩本 花優 (1年・大安)	渡邊 悠羽璃 (1年・暁)					
13	鈴鹿高等学校 安達 正史	東畑 志菜 (2年・嬉野)	安達 芽愛 (1年・神戸)	野口 愛莉 (1年・一身田)	小嶋 奈瑠 (1年・白山)	中井 優希 (1年・上野南)	高橋 沙季 (1年・港)		
14	高田高等学校 緒方 美穂子	吉田 海愛 (2年・大池)	小松 佳歩 (2年・二見)	小竹 凜子 (1年・久居)	浅生 実由 (1年・東観)	岡山 歩乃果 (1年・東観)			
15	三重高等学校 尾上 菜智	田邊 優 (2年・朝陽)	中西 美那 (2年・光洋)	大塚 愛莉 (2年・池田)	梅谷 美凜 (2年・三雲)	小南 良禮 (2年・笹川)	中瀬 菜 (1年・一身田)	奥野 翠 (1年・厚生)	

R5 新人大会 男子個人1

第1試合場

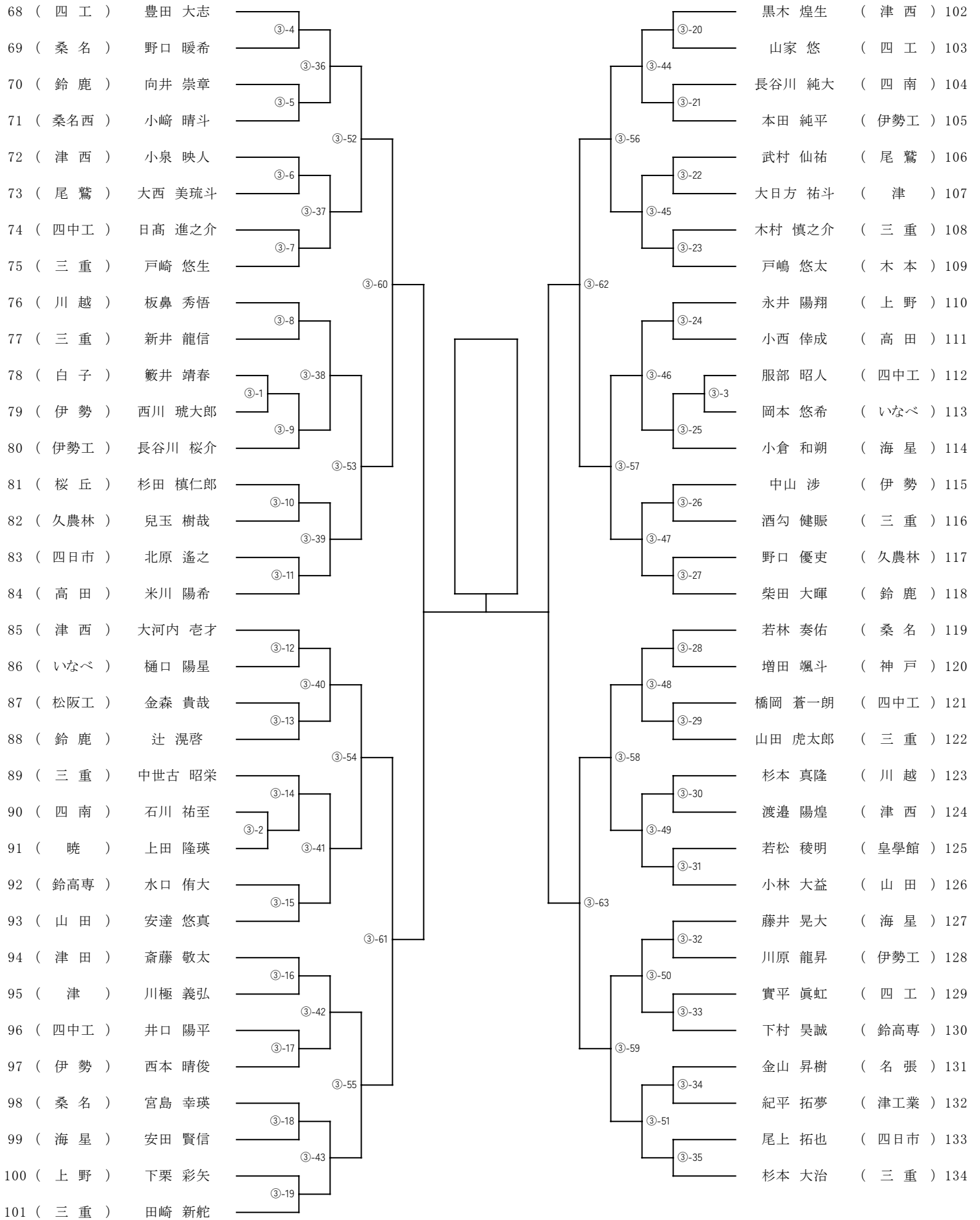
第1試合場



R5 新人大会 男子個人2

第3試合場

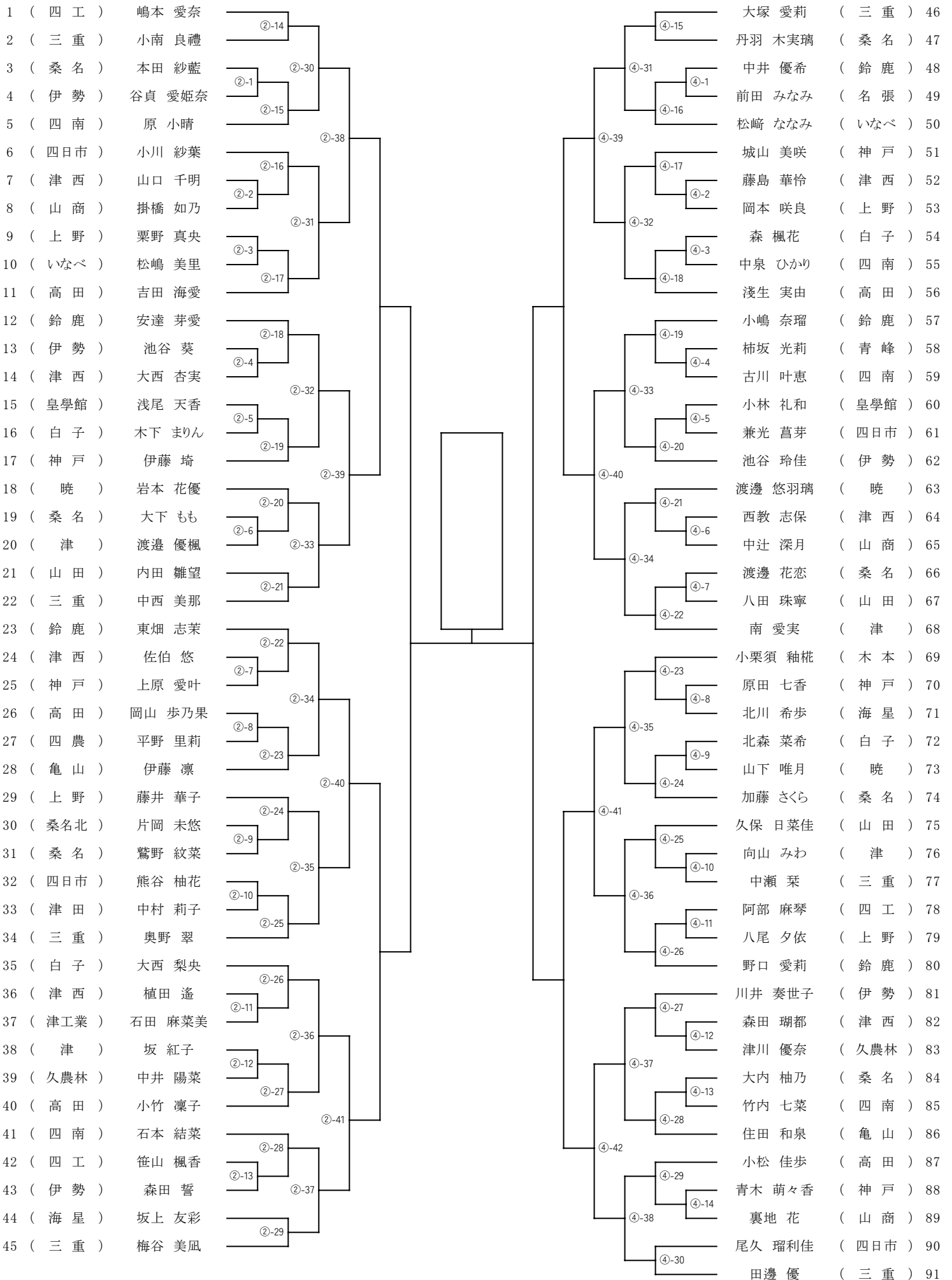
第3試合場



R5 新人大会 女子個人

第2試合場

第4試合場



観客 ← → 高校生

観客
自由席

上野
桜丘

神戸
桑名西
鈴鹿

四中工
津田学園

四日市
伊勢学園
津西

津
山商
名張

四日市工
鈴鹿高専

いなべ
津工業
木本

伊勢

スラージ

久居農林
亀山
名張青峰

三重

宇治山田
皇學館
桑名北

白子
四日市南
伊賀白鳳

暁
尾鷲
四日市農

高田
海星

伊勢工業
川越
松阪工

桑名

※座席に余裕はありますが、譲り合ってください。